

ルリボシカミキリ (*Rosalia batosi* Harold) の斑紋異常について

黒田 収

美しいカミキリで、採集者たちの目をひきつける、ルリボシカミキリは、県下でも少し奥地へいけば、比較のみられる種類である。筆者はカミキリ採集を行なっているうち、手許にあるルリボシカミキリの中に、いろいろなパターンの斑紋異常型が含まれていたので一度まとめてみた。

ルリボシカミキリは前胸背及背面の斑紋異常型が多い事で知られている。その内Fig. 1の原型では前胸背に黒斑が前後2個有り、さやばねの第2・第3紋は連続している。

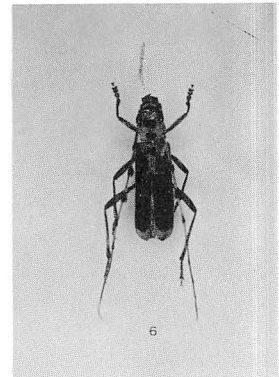
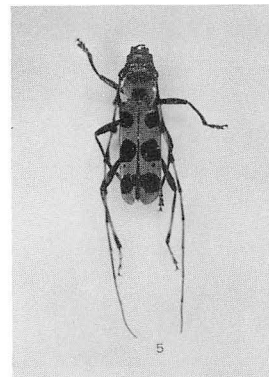
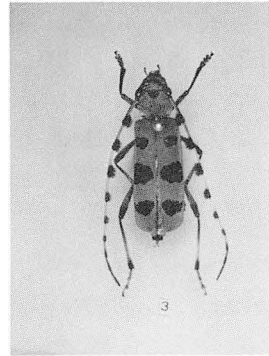
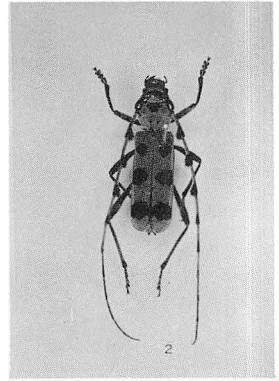
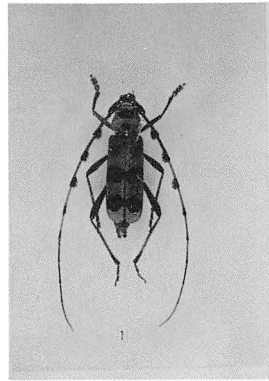
Fig. 2は、前胸背の後方の黒斑が小さな2黒点に分れ、さやばねの第2紋が連続しない。

Fig. 3は、前胸背の後方の黒斑が無い個体。

Fig. 4・Fig. 5は前胸背に黒斑が前後2個有り、Fig. 1の原型と同じであるが、小楯板後方とさやばね第2第3紋の中間に黒斑点の現われる個体等が大別される。

現在本種には※17型が命名されているが、Fig. 6はこれ等17型の中には含まれない特異な異常型と思われる。前胸背はFig. 1 Fig. 5と同じで、上翅はFig. 4、Fig. 5に含まれるが、さやばねの大部分が黒色である。Fig. 5の異常型であろう。飛翔中でも、はっきりと上翅の黒色が確認できた。

以上のように、普通種ではあるが、いろいろと調査すると面白い事が判明するものである。



- | | | |
|--------|-------------|-------------|
| Fig. 1 | 兵庫県宍粟郡波賀町赤西 | 27-VII-1981 |
| Fig. 2 | 〃 養父郡太尾川横行 | 13-VII-1980 |
| Fig. 3 | 〃 〃 〃 | 3-VIII-1980 |
| Fig. 4 | 〃 宍粟郡波賀町赤西 | 5-VIII-1979 |
| Fig. 5 | 〃 〃 〃 | 5-VIII-1979 |
| Fig. 6 | 〃 〃 〃 | 5-VIII-1979 |

(参考文献)

※原色昆虫大図鑑(II) 甲虫編 北隆館 p. 290

(S.14: OSAMU KURODA 姫路市)